

「駅まわり」の魅力を発見してみよう！

調布市内には9つの鉄道駅があります。その駅やその周辺をわたしたちは通勤や通学、買い物、イベントなど多くの場面で日々利用しています。

日常から利用しているため、当たり前になっている駅やその周辺（駅まわり）には、見逃していたり、気づいていない様々な魅力が隠れています。

みなさんもふと足を止めて、その隠れた魅力を見つけ、"これだを感じる" お気に入りの「駅まわり」の新たな魅力を発見してみましよう。

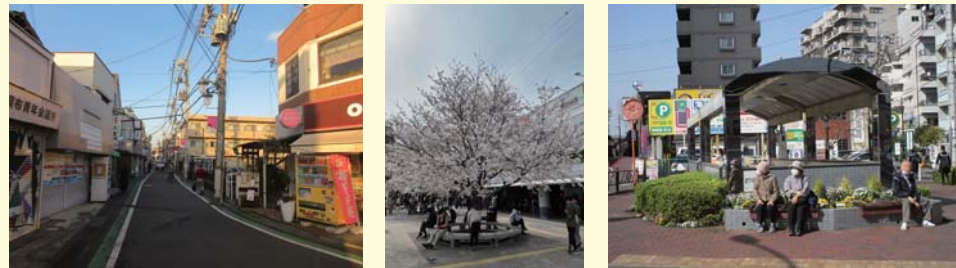
「駅まわり」とは？

駅舎や駅前広場はもちろんのこと、そばの商店街や1本入った道などの駅前以外の駅周辺を含めたエリアを「駅まわり」と捉えています。



魅力発見のポイント

- 「駅を出たときに感じる風格のある風景」
- 「シンボルとなる建物や樹木のある風景」
- 「季節や時間で変化する風景」
- 「落ち着く・ほっとする風景」
- 「人々が生活する日常の風景」
- 「イベントなど非日常の風景」 など



お知らせ

景観まちづくり市民検討会の参加者のみなさんが発見してきた魅力について、ちょうふ景観だよりでご紹介していきます。

今後の紹介予定

- 第1回：柴崎駅 つつじヶ丘駅 仙川駅 (本号で一部紹介：P2-3 参照)
- 第2回：飛田給駅 西調布駅 京王多摩川駅 (次号以降に紹介予定)
- 第3回：調布駅 布田駅 国領駅 (次号以降に紹介予定)

みなさんの最寄りの「駅まわり」の魅力を発見の参考にしてみてください。



調布市では、景観まちづくりについて、景観だよりでお知らせしていきます。

発行：調布市都市整備部 都市計画課 開発景観係

Tel : 042-481-7442 Fax : 042-481-6800 Email : tikubetu@w2.city.chofu.tokyo.jp



ちょうふ 景観 だより



令和3年12月20日発行

第53号



市内の駅の魅力を発見しよう

景観まちづくり市民検討会の参加者のみなさんに、調布市にある鉄道駅の「駅まわり」で魅力を感じる、表現する場面を1枚撮影し、その理由とキーワードについて、市内9駅を3回に分けて見つけてきていただきました。

本号では、第1回の内容の一部をご紹介します。



検討テーマ「駅まわりの魅力」を発見しよう! / vol.1

第1回は調布市の東側, 仙川, つつじヶ丘, 柴崎を調査。

国分寺崖線, 野川を横断する京王線, 高低差から3駅とも特徴のある駅のつくりとなっています。



- 第1回
- 仙川駅
- つつじヶ丘駅
- 柴崎駅

※本号では、第1回の内容の一部をご紹介します。

2021.12.20 仙川駅 →

- 国分寺崖線をくり抜いた半地下駅で、周囲に学校や病院が立地していることから市内の乗降客数が調布市に次いで2番目に多い駅となっています。
- 商店街などを中心に、小規模の店舗が連続して立ち並ぶ街並みとなっています。
- 昭和時代から小規模な店舗で商店街が構成されていましたが、駅周辺の再開発により、中・大型店舗が出店して更に活気のある街へと変貌しています。



歩行者中心の道路、小広場、公園などの人中心の歩行者空間と、個性的な店舗がちょうどよくミックスされ歩いて楽しい空間・街並みです。

季節ごとに人々を和ませてくれる桜の木の下には、待ち合わせや休憩をする人が常に集まっています。



2021.12.20 つつじヶ丘駅 →

- 以前は地下から駅に上がっていましたが、平成23年に現在の橋上駅になりました。
- 駅南口は今後道路整備により、道路沿いの街並みの変化が予想されます。
- 北口のロータリーからは、深大寺・神代植物公園へのバスが発車しています。

整備後にどんな景観が生まれるのかな?



数分~10分毎にバスが発着するため、住民にも観光客にも便利。

2021.12.20 柴崎駅 →

- 各駅停車する地上駅で、駅からすぐに外に歩いて出ることができます。
- 駅前には昭和の面影が残る商店街の風景を見ることができます。
- 狭い道路や踏切など、懐かしさのある街並みを感じることができます。

踏切は不便だけど、帰宅時は多くの方があえて踏切を渡って、北側の家に帰ってきます。



古い街並みから新しい街並みへと変化させる新しい店ができて賑わっていました。